

しかし、先に第一声を紹介しましたが、選挙期間中、安倍首相・自民党候補者はほとんど改憲については触れませんでした。選挙管理委員会が配布しています選挙公報でも、自民党の公約に「憲法改正」の文字はありませんでした。

ところが、安倍首相は開票日の22日夜に、改憲について「できるだけ多くの方に賛成していただけるよう汗を流す」「憲法審査会に各党が案を持ち寄り、建設的な議論をしていくことが必要だ」と推進姿勢を示す。また、9条1項、2項を残して自衛隊を憲法に書き込む方針について「多数派を得るためには2項を残さねば難しい」とし、「北朝鮮の脅威に対し24時間365日頑張っておられる、災害では命がけで頑張っておられる自衛隊について教科書に違憲論が載っている状況を一日も早く直すべきだ」と述べました。さらに、2020年施行という目標については「国民の議論を深めるために一石を投じるという意味。スケジュールありきではない」と語りました。



まさに、これまでと同様の常套手段で、憲法9条改正を強行しようとしています。絶対許せません。全国3000万署名を成功させるなど、国会発議をさせないたたかいに全力でとりくみましょう。

3000万署名のとりくみ

岐阜 核兵器廃絶を求める署名とともに、安倍9条改憲署名を訴える!

岐阜県の憲法9条を守る共同センターは26日の昼、総選挙後初めての安倍9条改憲署名、核兵器廃絶を求める国際署名に取り組み、名鉄岐阜駅前に5団体7人が参加しました。

9条センターの竹中美喜夫事務局長、共産党県委員会の高木光弘書記長がマイクを握りました。総選挙で「改憲勢力」が3分の2以上を超えたが、「NHKの調査で、国民の8割は9条が日本の平和と安全に役立ってきたと思っている」ことを紹介し、「国民の願いと逆行している」と批判し、「北朝鮮の危険をあおり、防衛費の拡張や改憲への道に進む必要がどこにあるか。世界に誇る9条を生かす道こそ政府が進むべき道だ」と訴えました。

マウンテンバイクで通りかかった男性は、「国会に改憲派が多数だが、国民は9条擁護派が多数。今度の選挙は共産党が一番頑張ったと思う。野党分断で不利になったが、候補者一本化に努力し、犠牲を払ってまで立憲民主党への躍進に貢献した。市民と野党の共闘を堅持した結果だ。あきらめずに、ぜひ頑張ってもらいたい」と署名し、激励しました。

長崎 民医連3000万人署名行動「安倍さんに騙されんようにせんばね」

長崎民医連は26日、長崎市内の繁華街で「安倍9条改憲NO」3000万人署名に取り組みました。

長崎民医連は2018年4月まで1万6000人署名を目標にしています。この日は20人が参加し、160人が署名しました。「いのちを守る、9条を守る」「3000万人の声を届けよう」などと書かれたプラカードを掲げて、「9条改憲をやめさせて、憲法を守りましょう」と署名を呼びかけました。

呼びかけに応じて署名した女性(69)は「子どもや孫、後に続く人に絶対に戦争にやりたくない。戦争は大きな無企業が利益を得るだけ」と語りました。「もっと良かことせんばいかん。こんな悪いことしたらだめ」といって署名に協力する女性もいました。「安倍政権の改憲策動は恐ろしいと思う。それで署名しました」「安倍さんに騙されんようにせんばね」などの声が聞かれました。

長崎民医連職員の前田志乃さんは『改憲はよかたい』という人もいてびっくりした。もっと憲法改悪ノーの声を広げていかなければと思いました」と語りました。

憲法しんぶん速報で、各地の3000万署名のとりくみを紹介したいと思います。是非、とりくみを紹介する原稿を送ってください。FAXでもメールで構いません。よろしくお願ひします。

各地のとくくみ

石川 憲法会議を先頭に「9条守れ」とデモ行進

石川県憲法会議と憲法改悪反対共同センターが25日、金沢市内の四高記念公園に約50人が集まり、「戦争法廃止!9条改悪許さない!」昼デモを行いました。総選挙の間休止していた隔週水曜日のデモ行進が再開されました。

出発前のあいさつで、衆院石川1区の候補者として奮闘した共産党の黒崎清則氏が選挙結果について語り、「自民党の圧勝のように報道されているが、47%の得票で74%の議席を占有している。これは小選挙区制のマジックだ。安倍政権は信任されていない。支持と不支持が拮抗している」と述べ、「捲土重来を期し野党共闘に力を尽す。党を大きくしたい」と決意を述べると、大きな拍手が起きました。

デモ行進は、「平和憲法9条を守ろう」と書いた横断幕を先頭に「9条壊すな」「戦争アカン」など書いたのぼりを掲げ、「戦争法廃止」「憲法9条守れ」などとコールしながら繁華街に向かって行進しました。

海外からの観光客がしきりに写真を撮り、手を振ってデモ行進を激励していました。

高知 革新懇が買い物客でにぎわう木曜市で宣伝行動

高知県革新懇は28日、買い物客でにぎわう高知市の木曜市で宣伝を行いました。県労連の田口朝光委員長は、高知2区で無所属の広田一氏が勝利したことをあげ、「野党共同候補が議席を獲得しました。市民と野党の共闘の歴史的な前進が見られました」と強調する一方、「安倍内閣の支持率が続落する中、小選挙区制中心の選挙制度によって自民党が4分の1の支持で7割の議席を得ており、安倍内閣が支持されたわけではない」と指摘しました。そして、「私たちは市民と野党の共闘の流れを進めていく」と表明し、安倍首相が憲法改悪を狙っていることに注意を喚起し、「一緒に草の根から憲法を守る運動をつくっていきましょう」と訴えました。

共産党の岡田泰司市議が市政を報告し、新図書館の西敷地を市民のいこいの場として残すための運動への協力を呼びかけました。

通りかかった男性は、「新しい国会で森友・加計疑惑を追及してほしい」と話しました。



**安倍9条改憲NO!
全国市民アクション
11・3
国会包囲
大行動**

2017年11月3日 (休・憲法発布記念日)
14時00分 START
15時30分 終了 (予定)

再び国会を包囲し、
安倍9条改憲NO!の意思を示そう!

詳細は決まり次第、2次チラシや準備中の
webサイト等でお知らせします。

安倍9条改憲NO!
憲法を生かす全国統一署名
にご協力をお願いします。

安倍9条改憲NO!
全国市民アクション